

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科： 数学 科目： 数学 I 単位数： 3 単位
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組
 教科担当者： （1～3組： 畑野）（4～5組： 山口）（6組： 渡邊）（7～8組： 貝瀬）
 使用教科書： （数研出版 高等学校数学 I）
 教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数
学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付け
るようになる。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認
識し統一的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確
に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的
論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めた
り、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析における基本的な知識を身に付けており、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析における考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基いて判断しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
				知	思	態	
1 学 期	数と式について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培う。数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。	第1章 数と式 第1節 式の計算 第2節 実数	【知識・技能】 定期検査・小テストなど 【思考・判断・表現】 定期検査・小テストなど 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物・授業中の態度・取組など	○	○	○	15
	定期検査			○	○		1
	数と式、集合と命題、2次関数について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培う。数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。	第1章 数と式 第3節 1次不等式 第2章 集合と命題 第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ	【知識・技能】 定期検査・小テストなど 【思考・判断・表現】 定期検査・小テストなど 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物・授業中の態度・取組など	○	○	○	18
定期検査			○	○		1	
2 学 期	2次関数について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培う。数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。	第3章 2次関数 第2節 2次関数の値の変化 第3節 2次方程式と2次不等式	【知識・技能】 定期検査・小テストなど 【思考・判断・表現】 定期検査・小テストなど 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物・授業中の態度・取組など	○	○	○	27
	定期検査			○	○		1
	図形と計量について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培う。数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。	第4章 図形と計量 第1節 三角比 第2節 三角形への応用	【知識・技能】 定期検査・小テストなど 【思考・判断・表現】 定期検査・小テストなど 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物・授業中の態度・取組など	○	○	○	20
定期検査			○	○		1	
3 学 期	図形と計量、データの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培う。数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。	第4章 図形と計量 第2節 三角形への応用 第5章 データの分析	【知識・技能】 定期検査・小テストなど 【思考・判断・表現】 定期検査・小テストなど 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物・授業中の態度・取組など	○	○	○	20
	定期検査			○	○		1